

平成29年1月26日

五泉市長 伊藤勝美様

五泉市総合計画審議会
会長 樋口 滋



第2次五泉市総合計画について（答申）

平成28年12月13日付け五企第373号で本審議会に諮問のありましたことについて、慎重に審議した結果、概ね妥当であると認め、下記の意見を付して答申します。

記

1 全体的事項

- (1) 本計画の実施にあたっては、協働と信頼によるまちづくりを推進し、将来像「ずっと五泉。～次の一步を、ともに未来へ～」の実現に向けて、市民と行政が一体となって取り組まれない。
- (2) 人口減少問題と地域医療の確保を喫緊の課題として捉え、社会情勢の変化に伴う市民ニーズの多様化に的確に対応したうえで、計画の実行性を高めるように取り組まれない。

2 基本政策別事項

(1) 「いきいきの泉」

- ① 日本の将来を担っていく子どもの将来の芽を摘むことのないよう、いじめや不登校の解消に積極的に取り組まれない。
- ② 市民が気軽にスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる環境づくりに取り組まれない。
- ③ 市民が文化にふれる機会を充実させるため、文化施設の整備や伝統文化

の後継者確保などに積極的に取り組まれない。

- ④ 超高齢社会を迎えるにあたり、市民が生きがいを持って生活できる環境づくりに取り組まれない。

(2) 「安心の泉」

- ① 子どもが正しい食習慣を身に付けられるよう、引き続き自校式給食を推進し、食育意識の啓発に取り組まれない。
- ② 全国的に産婦人科医が不足している現状を踏まえたうえで、安心して子供を産める環境の整備に取り組まれない。
- ③ 医師会、医療機関と行政が一体となって在宅医療を推進する体制づくりに取り組まれない。
- ④ 地域の基幹病院を確保し、二次医療については地元で完結できることを目指して積極的に取り組まれない。
- ⑤ 医師、看護師など医療従事者の確保のため、財政的な支援や医療機関と行政が連携して国、県に働きかけるなどの取り組みを検討されたい。
- ⑥ 消防力の強化に向け、消防装備の充実や消防団員の確保などに積極的に取り組まれない。

(3) 「ふれあいの泉」

- ① インターネットの普及に伴うトラブルから子どもたちを守るため、家庭の教育力向上に取り組まれない。
- ② 民生・児童委員の人員確保に努め、地域における福祉活動の充実に取り組まれない。
- ③ 外国籍市民に対する理解を深め、市民と外国籍市民が一体感を持ち、認め合って暮らせる環境づくりに取り組まれない。

(4) 「活気の泉」

- ① 地域経済の維持・活性化、後継者の確保のため、商業、工業に対する積極的な支援に取り組まれない。
- ② 複合施設の整備にあたっては、織物やニットなどの地場産業の魅力を情報発信できる施設となるように検討されたい。
- ③ 農業後継者の確保、育成のため、生産法人の設立支援、生産基盤の整備などに取り組まれない。
- ④ 農産物の付加価値化、ブランド化を進めるため、6次産業化に積極的に

取り組まれない。

- ⑤ 五泉四華などの地域資源の魅力向上に努め、商工団体、農業団体などと行政が一体となり、地域活性化を図る取り組みを積極的に推進されたい。
- ⑥ 広域的な視点で近隣の市町と連携した新たな観光ルートづくりやイベントを検討し、地域の魅力向上に取り組まれない。

(5) 「快適の泉」

- ① 環境意識の向上を図り、ごみの発生抑制やリサイクルの推進に取り組まれない。
- ② 高齢者や障がい者に配慮した施設整備を推進し、快適で安全なまちづくりに取り組まれない。
- ③ 村松公園の桜の更新など、公園の魅力を維持する取り組みを実施されたい。

(6) 「基本構想・基本計画の実現のために」

- ① 少子高齢化、人口減少問題に対する危機感を市民全体で共有し、将来のまちづくりに取り組まれない。
- ② 市民参加意識の醸成を図り、市民参加と協働によるまちづくりの実現に向け、取り組まれない。
- ③ 官民一体となり情報発信に積極的に取り組み、五泉市の知名度向上に努められたい。